

# 47. 博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業

## 概要

平成29年度予算案額：23百万円

ICOM京都大会等に向けた取組を通じた博物館の活性化・国際化により、観光振興や国際交流の拠点としての博物館の機能を強化し、博物館を核とした新たな地域創生につなげる

●**対象者** 連携の拠点となる博物館やその設置主体、複数の博物館が中心となる実行委員会

●**対象事業** 分野別・地域別等の博物館のネットワークによる連携組織（コンソーシアム等）による国内外の優秀事例の収集及び調査研究、調査研究結果を基にしたテーマごとの事業を実施するとともに、委託先ごとにその成果の普及を図る。

- (1) 学芸員の研修プログラムの実施
  - ・海外博物館との交流（学芸員の招聘、派遣）、観光マネジメントに強い学芸員の育成のための講座
- (2) 多言語による国際発信
  - ・ICTを活用した広報技術の強化（インターネット等を活用した情報発信の充実、ガイドブック、動画等の作成）
- (3) 地域における博物館の魅力向上
  - ・博物館を核とする観光等の地域振興（観光業界や周辺施設等と連携した開館時間延長、ユニークベンチャーなど）

●**支援内容** テーマごとに先進モデルを構築するための委託事業を実施。

- (1) 学芸員の研修プログラムの実施
- (2) 多言語による国際発信
- (3) 地域における博物館の魅力向上

## ●事業イメージ

### 博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業 （前年度予算額 25,605千円） 29年度予定額 23,009千円

2019年国際博物館会議（ICOM）京都大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を我が国における学術、文化芸術のレガシーを広く国内外に発信する絶好の機会と捉え、複数の博物館を中心とした連携組織（コンソーシアム）による国内外の博物館連携を一層推進し、観光マネジメントにも強い学芸員の人材育成等、観光振興、国際発信の拠点としての取組モデルを構築し、博物館の機能強化を図る。

日本再興戦略2016（平成28年6月2日閣議決定）  
学芸員や文化財保護担当者等に対する文化財を活用した観光振興に関する講座の新設等による博物館の機能強化



#### (1) 学芸員の研修プログラムの実施

・海外博物館との交流（学芸員の招聘・派遣、セミナーの開催）、観光マネジメントにも強い学芸員の育成

#### (2) 多言語による国際発信

・ICTを活用した広報技術の強化（インターネット等を活用した情報発信の充実、ガイドブック、動画などの作成）  
・訪日外国人の増加に対応した多言語による館内案内や展示解説の充実、移動展示、外国人向けプログラムの開発

#### (3) 地域における博物館の魅力向上

・博物館を核とする観光や学びを通じた地域振興（地域や観光業界と連携した開館時間延長、ユニークベンチャー、アウトリーチ活動）



ICOM京都大会に向けた取組を通じた博物館の活性化・国際化により、観光振興や国際交流の拠点としての博物館の機能を強化し、博物館を核とした新たな地域創生につなげる

※ 旅行関連企業や観光に関する資格保有者等を想定

○問い合わせ先 : 文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課  
電話 03-6734-2093